

YWV20

YWV20ホームページ10周年  
&  
YWV20+22ホームページ誕生  
記念ドラマ

イシガキのヒゲキ

YWV20+22

ツタ



デカ長！！

大変だ～！

死体が  
見つかった！！

(ツエ刑事)



(顔がでかいテラ デカ長)  
何ー！！



(顔がでかいアブ警部)  
どこだ、死体は！！



このホトケです。



これはツエだろう。



このホトケでした。



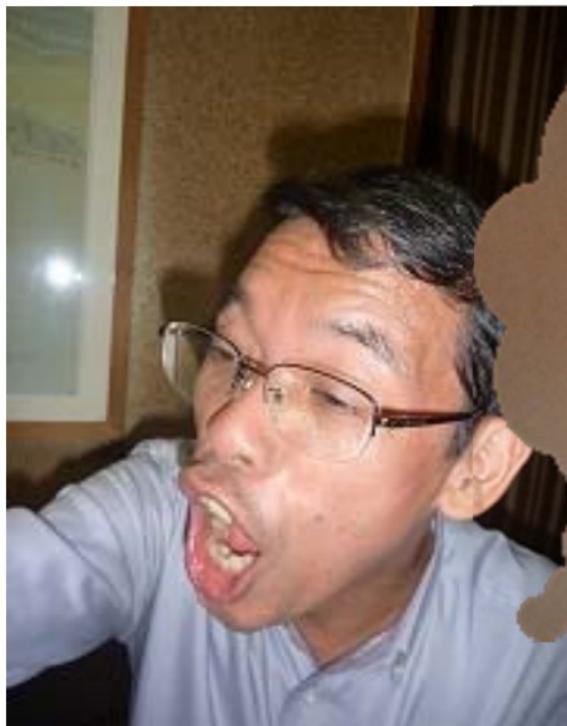
バカヤロー！これはザキヤマ21。



このホトケ2体でした。



アホ！！ これは寝ているだけ！



本当は・・・  
この人です。  
イシガキさんです。 10



えええ、本当に死んだのか？



間違いありません！！



(デカ長)

よし、分かった。

しかし、  
本当に嬉しそうだな。



それで、ホシは？ お前か？



違いますよ。  
容疑者は2人います。



ヤ (容疑者1)  
(デカ長) 殺りそうな顔をしてるなあ。



(容疑者2)

(デカ長)こいつも怪しいなあ。



それで、これが凶器です。



ひどい目に  
遭わされましたから、  
死んで当然です。

(デカ長)  
お前、人が死んだのに  
何で笑顔なんだ？！



歳のことをしつこく  
言うし、  
ホームページに  
変な顔を勝手に  
たくさん載せるし、

許せない！  
地獄に落ちろ！

(イシガキ)  
後ろで見てるぞ！



へ～、死んだんだあ。  
特に悪い人でもなかったのに。



イシガキさんは  
悪い人じゃ  
無いと思うよ。

OB会の仕事も  
しっかりやっている  
ようだし、  
飲み会の幹事も  
しているし。



ツエくん、ひどい。  
イシガキさんは優しい人だったのに。



(ツエ)  
キンドーは他の男性と  
一緒の方が  
楽しそうだな(怒)！！



へー 何よ、今ごろ気付いたの…  
遅っ！！



くっそー、喰ってやる！！！！



アサヒ飲んでたから、死んでもいいけど、  
ツエが言うほどは、ひどくないと思うよ。



アサヒも飲むけど、  
麒麟も  
飲んでるよ。

ほらね！

ナルさん、  
お注ぎしましょうか。



そんな事を言うツエを  
呪い殺してあげようか……。



イシガキさんに  
やられて  
病院送りになったことも  
あるんですヨ。



嘘をつくな、ツエ！！  
嘘をついても  
すぐ分かる。  
顔に書いてあるゾ。

自分で転んだくせに。



ほっ…、本当ですよ…。



ハイ！！

俺にも意見を言わせて！



話がちょっと長いだけで、  
俺はいいヤツだと思っヨ！！



ネ～ アオヤマ。



イシガキさんの度量は  
こんなものでしたけどネ。



え——、このくらいはあるんじゃないの。

37



いやいや、イシヤンの度量は  
こんなんでっかいぞ。



(ザキヤマ22)

イシガキさんは  
飲み会の幹事もするし、  
金沢にも野毛にも  
付き合ってくれるし、  
OB会報の発行もしっかりやっているし、  
会社での仕事ぶりは知らないけれど、  
YWV20ホームページに22期を入れてくれたし、  
私は立派な人だと思います。





そんなイシガキさんが  
殺されるなんて。

悲し——い！！



立派な人に花を手向けましょう。



ひどいことを言っているツエくんは無視して  
安らかに眠り下さい。



ヤバイですよ。雲行きが怪しくなってきた。



知らないフリをして  
とぼけることに  
しよう。

話を改めて、  
ニシダさんのラーメン美味そう  
ですね。



そーだなあ。 46



そんな事より、犯人はどうなったんだ！



容疑者1は  
アリバイがありました。

事件当日の  
死亡推定時刻に  
容疑者1は  
美正で酒を  
呑んでいました。



容疑者2は思いっきり、首を振って  
否認しています。



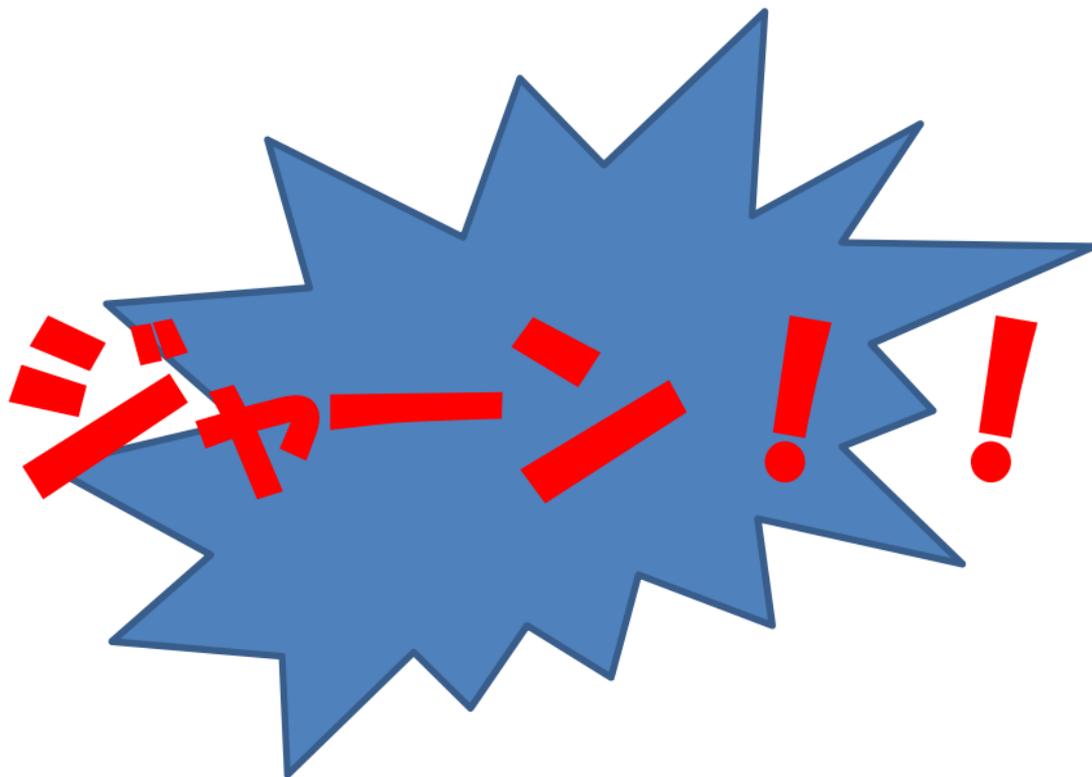
じゃあ、やっぱりホシはツエだ！！



そんな事はしていませんよ。  
やりたかったけど。



じゃあ、誰が殺したんだ？





こんばんは、  
イシガキです。







誰だ、勝手に俺を殺したのは！  
それに、ドラマのタイトルも間違っているぞ！  
誰も死んでいないし、  
「ヒゲキ」でもない。



こんなにヒゲが伸びていたから



ヒゲを切りましょう、という事になって



ヒゲを切ってすっきりしただけ。

と、いう事で



タイトルは「**イシガキのヒゲキ**」ではなく

正確には「**イシガキのヒゲキッタ**」。

下にちゃんと「**ッタ**」が書いてあるでしょう。

何と云うことでしょう、  
イシガキさんは  
生きていました。  
残念……。





イシガキくん、生きていてよかったネ。

この物語は  
フィクションであり、  
実在の人物、団体とは  
一切関係ありません。



(イシガキ)

お疲れ様でした。  
ギャラなどは  
一切ありませんが、  
皆さん、ご出演  
ありがとうございました。  
今後とも  
新生YWV20+22ホームページを  
宜しく願います。

生きてて良かった・・・。



～ **END** ～

2016年3月作成  
Directed by 英知愛